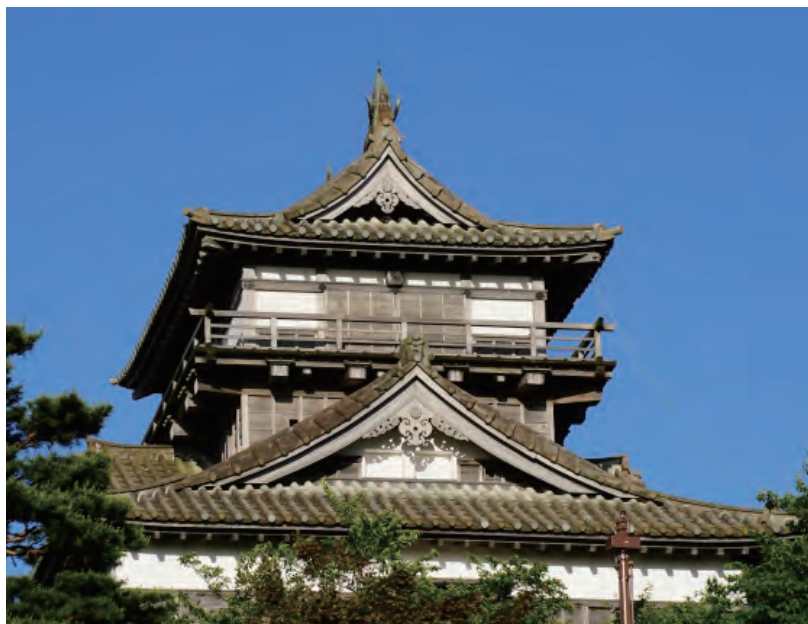


NO. 375  
2018.8・9

# CENTER NEWS



## 目 次

組合員代表者交代にあたって 基礎地盤コンサルタンツ(株) 関西支社 成瀬文宏	1
5月・6月定例理事会	2
7月・8月定例理事会	3
第38期通常総会 開催報告	4
若手技術者室内試験体験会に参加して	5
基礎地盤コンサルタンツ(株) 氏名：京坂 知子	
東邦地水(株) 氏名：中幡 祐基	
(株)オキココーポレーション 氏名：山内 逸豊	
(株)KGS 氏名：横山 淳紀	
教育・技術小委員会メンバー紹介	9
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話	11
編集後記	12

### 表紙写真 大募集！

センターニュースの表紙にあなたの撮った写真を載せませんか？  
写真とその表紙の説明（撮影した状況やその物の説明、言いたい事など  
なんでも構いません）を付けてinfo@ks-dositu.or.jpにお送り下さい。  
採用された方にはちょっとしたお礼もごぞいます。  
皆様のご投稿をお待ちしております。

### 表紙説明

丸岡城は、福井平野丸岡市街地の東に位置する小高い独立した丘陵に築かれた平山城である。近世に山麓部分が増築され、周囲に五角形の内堀が廻らされていた。安土桃山時代に建造されたと推定される天守は重要文化財に指定されている。その他、石垣が現存している。

移築現存する建物として、小松市の興善寺および、あわら市の蓮正寺に、それぞれ城門、丸岡町野中山王の民家に、不明門と伝わる城門がある。ほかに土塀が現存する。

五角形の内堀は現在埋め立てられているが、この内堀を復元する計画が浮上している。「霞ヶ城」の名の由来は合戦時に大蛇が現れて霞を吹き、城を隠したという伝説による。平成25年、国宝化を目指し丸岡城国宝化推進室を設置した。

引 用： <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%B8%E5%B2%A1%E5%9F%8E>  
(平松 記)



## 組合員代表者交代にあたって

基礎地盤コンサルタンツ（株）関西支社  
成瀬文宏

昨年の10月より、組合員代表者を交代いたしました、基礎地盤コンサルタンツ（株）関西支社の成瀬文宏と申します。

関西には初めて赴任して参りましたが、当センターとジオ・ラボネットワークでグループであるジオラボ中部（中部土質試験協同組合）と、同じ全地連傘下の関連団体である（一社）中部地質調査業協会の両理事を、いずれも7年間務めさせていただいておりましたので、当センターの理事、及び職員の一部の方々とは、以前より懇意にさせていただいており、そのため親近感、安心感をもって、組合員代表者として参加させていただくことができました。

特に高村理事長（当時）と中山専務理事には、2015年の札幌でのジオラボ経営懇談会の際、大変お世話になり、ジオラボ中部の坪田理事長（当時）とともに、札幌市郊外の豊平峡ダム（フォルムが黒部ダムとよく似たアーチ式）の現地研修にも連れて行っていただきました。



高村理事長（当時）

豊平峡ダム（札幌市南区）

さて、先日、当社の試験室におきまして、試験技術者交流会を開催させていただきましたところ、当センター及びジオラボ中部からも多くの試験技術者の方にお集まりいただき、技術発表の形式で、意見交換をさせていただきました（最後に中山専務理事からご講評をいただきました）。その中で、必ずしも試験法に細部が決められていない取扱い方について、どうすれば最も適切か、などの活発な議論がなされ、物理試験の目的である、「どのような土で、どのような状態であるか」を正確に捉えようとする試験技術者の熱意に感動する場面もありました。

発注担当者の方から「物理試験なんているの?」と言われ、その度に物理試験の重要性を力説された技術者の方も多いたと思います。このように世間どころか、土木の専門家さえ、物理試験の重要性をなかなか理解してもらえないのが実情ではないかと思われませんが、物理試験も含めた地盤材料試験が全ての土木構造物の基礎を担っており、これを熱き試験技術者が担っていることを、センターと組合員が一丸となって広く世間にアピールしていければ、またその中で当社も微力ながらその一翼を担うことができればと思っています。

よろしく願いいたします。

# 5月

## 定例理事会

Regular board of directors

平成30年5月29日（火）13時00分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事10名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

### 【報告事項】

- 1) 一般経過報告  
4月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 4月分事業報告の件
- 3) 第38期通常総会担当確認の件
- 4) 第38期通常総会後の手続き等予定の件
- 5) ジオ・ラボネットワーク経営懇談会・定例会開催予定の件
- 6) ジオ・ラボネットワーク技術研修会開催予定の件
- 7) その他の件  
(1) 合同見学会の件

### 【審議事項】

- 1) 組合職員給与改定の件
- 2) 退職金規程の件
- 3) その他の件

# 6月

## 定例理事会

Regular board of directors

6月理事会は資料をメールで送付の上、持ち回り開催とした。

平成30年6月25日に全理事に資料を送付し、平成30年6月29日までに意見を回収した。

### 【報告事項】

- 1) 一般経過報告  
5月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 5月分事業報告の件

### 【審議事項】

- 1) 組合職員夏期賞与支給検討の件

# 7月

## 定例理事会

Regular board of directors

平成30年7月31日（火）15時00分より、ガーデンシティクラブ大阪会議室において、理事9名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

### 【報告事項】

- 1) 一般経過報告  
6月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 6月分事業報告の件
- 3) 平成30年度第1四半期実績報告の件
- 4) 大阪府北部地震被害報告の件
- 5) 平成30年度ジオ・ラボネットワーク経営懇談会・定例会開催報告の件
- 6) 第38期通常総会費用精算報告の件
- 7) 定款変更認可、登記完了報告及び組合再加入の件
- 8) 大阪府中小企業団体中央会大阪大会表彰者推薦の件
- 9) 規程類改定進捗状況報告の件
- 10) その他の件  
(1) 平成29年度補正ものづくり補助金採択報告及びものづくり・新サービス展ブース展示の件

### 【審議事項】

- 1) 圧密試験機購入の件
- 2) 第39期臨時総会開催日程及び特別講演会の件
- 3) その他の件

# 8月

## 定例理事会

Regular board of directors

8月理事会は資料をメールで送付の上、持ち回り開催とした。

平成30年8月27日に全理事に資料を送付し、平成30年8月31日までに意見を回収した。

### 【報告事項】

- 1) 一般経過報告  
7月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 7月分事業報告の件

# 第 38 期通常総会開催報告

5月29日 第38期通常総会を大阪キャッスルホテルにて開催致しました。

司会者が開会を宣し、次に寺西理事長が挨拶を行いました。議長には窪田副理事長が指名され、議事は滞りなく進められ終了しました。

通常総会に引き続き、懇親会が開催され、大阪中小企業団体中央会の今西主幹様の挨拶のあと、一般社団法人関西地質調査業協会 小宮理事長の乾杯の発声で和やかに始まりました。

荒木理事の中締めで懇親会は盛会の内に終了致しました。

(文責 森 辰義)



寺西理事長の挨拶



総会会場の様子



関西協会 小宮理事長の乾杯



荒木理事の中締め



# 若手技術者室内試験体験会

基礎地盤コンサルタンツ株式会社 関西支社  
地質部 京坂 知子

開催日：2018年4月19日・20日（9:00～17:30）

開催場所：関西地盤環境研究センター

研修内容： 一日目 オリエンテーション・不かく乱試料の押出し  
と観察・物理試験実習

二日目 力学試験実習・データ解析に関する講義・圧  
密試験実習※

※3種類の試験実習の中から私は圧密試験を選択しました。

所属：基礎地盤コンサルタンツ株式会社

氏名：京坂 知子

生年月日：1993年11月15日

出身：茨城県

4月19日と20日の計二日間にわたり、関西地盤環境研究センターにて開催された若手技術者室内試験体験会に参加しました。研修では、一軸圧縮試験や三軸圧縮試験など実際に試料を成形するところから体験させて頂きました。また試料の作成や試験の体験のみならず、データの解析の仕方や解析に用いる数式の原理なども解説して頂きました。

私は大学で花崗岩の力学試験をテーマとした研究を行っていたのですが、今回の体験会で取扱った粘性土のような非常に軟らかい材料の一軸圧縮試験を見たのは初めてだったので、一軸圧縮試験が研修の中で最も印象に残った体験でした。また物理試験実習の土の液性・塑性限界試験では、試料の作成がとても難しく、データの一つ取ることだけでも非常に苦戦しました。思うようなデータが得られないのは、水分の調整などが上手くいっていないためなのですが、技術者の方々は、そういった非常に繊細な部分に関しても感覚的に適切な量やタイミングなどを見極めて、試料を作成されているのだと実感しました。

私は、今回の体験会の全体を通して、自然由来のものを取扱うことの難しさを実感しました。この材料でこの試験を行ったらこうなるだろうと予測しても、実際にはその通りにはならないことが多く、そういった際にどのような解釈をしていくかが技術者の方の裁量に大きく任せられていることを知り、力学試験や物理試験の難しさを強く実感しました。これからの実務において、今回の体験会で学ばせていただいたことを生かして頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な体験会という場を作って下さり、実習では試料の作成の際など終始温かくご指導下さった関西地盤環境研究センターの皆様へ、深く御礼申し上げます。



# 若手技術者室内試験体験会

東邦地水株式会社  
大阪支社 中幡 祐基

所 属：東邦地水株式会社 大阪支社  
氏 名：中幡 祐基  
生年月日：1991年9月11日生  
入社して2年になります。日々、学習を積み重ねていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いたします。

2018年4月19日、20日の2日間にかけて、協同組合関西地盤環境研究センターにて実施された若手技術者室内試験体験会に参加いたしました。忙しい中、このような体験会を開催していただき、本当にありがとうございます。

今回、体験・見学した試験の中で、特に印象に残っていることは液性・塑性限界試験と繰り返し三軸試験です。

液性・塑性限界試験は、大学の実技講習で一度おこなったことがあります。当時は土質試験に対し、あまり興味が湧かず、そういえばやったことがあるといった程度の記憶しか残っていませんでした。今回、地質・地盤調査に関わっている身として、どのような目的で調査・試験をするかという目線で体験することで、より理解を深めることが出来たと感じております。また、実際に液性・塑性限界試験などをやってみると、最適な試験値を出すことの難しさや大変さに気づき、センターの方々の努力を感じることが出来ました。

繰り返し三軸試験に関しては、勉強不足のため、理解しきれない部分がありましたが、地震などの繰り返し応力を実際の地盤を想定して試験するために、ここまで準備が大掛かりで、時間もかかるのだということに驚きました。

本体験会では、全体を通して試験の手順を実際に見て、触れて学ぶことが出来たので、非常に有意義な時間だったと思います。今後の目標として、調査目的を意識しながら、こういった試験をする必要があるのかを考え、提案ができるような技術者になりたいと考えております。

最後になりますが、協同組合関西地盤環境研究センター、及び本体験会参加者の皆様には大変お世話になりました。今回、土質技術関係者と接点を持つことで、刺激を受けることが出来ました。私も刺激を与えることの出来る技術者になれるよう、経験を積み重ねていく所存です。今後とも、よろしくお願いたします。





# 若手技術者室内試験体験会

株式会社 オキココーポレーション

山内 逸豊

所 属：株式会社オキココーポレーション

氏 名：山内 逸豊

生年月日：平成6年6月26日生

出 身：滋賀県

今年度より入社いたしました、社会人1年目です。営業担当として頑張ります。よろしく願いたします。

去る5月17日から2日間、関西地盤環境研究センターにて開講された「若手技術者室内試験体験会」に、参加させていただきました。この度は、土質試験について知識を深める貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。

この2日間で、最も印象に残っている体験は、物理試験の「液性限界試験、塑性限界試験」です。弊社での新入社員研修で二度ほど試験を行った経験があるものの、私が文系出身の営業部員ということもあり、ほぼ全てのことが未経験でした。中でも塑性限界試験はとくに苦手うまく行うことができず、苦戦を強いられました。そんな様子を見て、職員の方が実践を交えてアドバイスをしてくださいました。土試料を手取る量から、手の力の入れ具合まで、とても分かりやすく教えていただき、何とか試験をやり遂げることができました。職員の方の手際の良さ、丁寧さ、これは日々の業務を通して培われた技術力が成せる業であり、それを目の当たりにした私は、とても感激いたしました。

帰社後、上司と体験会について話していると、三軸圧縮試験や圧密試験には今回体験したもの以外にも様々な種類があることが話題に出ました。土質試験は奥が深く、まだまだ学ぶことがたくさんあると感じました。体験会を通じて、教えていただいた土質試験についての知識を今後も深め、さらに気を引き締めて職務に邁進したいと思います。



# 若手技術者室内試験体験会

株式会社 KGS  
横山 淳紀

所 属：株式会社 KGS  
氏 名：横山 淳紀  
生年月日：1987年11月18日生  
出 身：群馬県

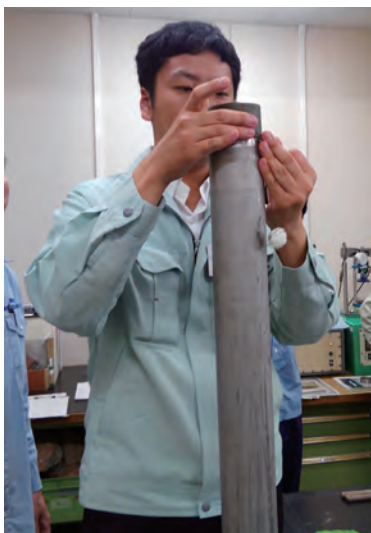
関西地盤地盤環境センターにて実施された、若手技術者室内試験体験会に参加させていただき、土質試験について理解を深める貴重な機会を得ることができました。

2日間にかけて行われた今回の体験会では、施設・機械の見学に始まり、実際の室内試験体験（不攪乱試料の押出し及び観察、液性・塑性限界試験、粒度試験、力学試験に用いる供試体作成等）から試験によって得られたデータの整理・計算までを熟練の技術者の皆様からの丁寧な解説を受けながら体験することができました。また、懇親会では地質業界に携わる様々な方々との接点を持つことができ、嬉しく思っております。

各試験の体験・見学において触れることができた、試験を開始する前段階での試料の観察方法や、準備における手際の良さについては、担当していただいた技術者の方々の職人技としか言いようがなく、一部が自動化されている試験機械を扱う上でも結果の正確性に大きく関わってくるのではないのでしょうか。数多くの試験を通じて習熟する技術と日々の研鑽によって裏打ちされる確かな知識の必要性を強く感じました。

私自身、現在は室内土質試験に携わる業務に就いておりますが、前職は全く異なる業界で働いておりました。そのため、知識・技術については不足している部分が多々あり、全てを理解できたとはとても言えません。しかし、今回の体験会全体を通して俯瞰の視線で土質試験について学ぶことができたのではないかと考えております。

関西地盤環境センターの皆様、お忙しい中このような貴重な機会を用意して頂き、有り難うございました。今後の業務においても今回の体験会で得ることができた経験を糧にさらなる知識の習得、習熟に励む所存です。



不攪乱試料の押出し及び観察体験



土の粒度試験体験

# 委員会新メンバー紹介

## 教育・技術小委員会



株式会社 ダイヤコンサルタント  
鏡原 聖史

平成 30 年度スタートの教育・技術小委員会の委員長を仰せつかりました鏡原と申します。

委員会メンバーに実りのある会であるとともに、行事に参加頂いた方に満足いただけるような活動ができればと思っております。

ご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



応用地質株式会社  
吉田 敬

前回に引き続き 2 期目の拝命となりました。私は、所属会社の室内試験部門に所属しており、試験技術者の能力向上と室内試験の利用技術の普及に取り組んでいます。これはそのまま当センターの教育・技術小委員会の活動方向とも一致することと考えています。

センター職員の皆さんとは切磋琢磨して技術を磨き、組合員企業の皆さんとはよりよい試験技術の活用を追求していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



日本基礎技術株式会社  
木村 耕治

平成 28 年度から 2 年間、教育・技術小委員会活動に参加してきましたが、今年度の委員会改編に伴い、引き続き教育・技術小委委員会に所属させていただくこととなりました。

教育・技術の委員会としては昨年度から人数が増えたかたちとなりましたので、たくさんのアイデアや意見を取り入れて、より活性化できればと思います。よろしくお願いたします。



中央復建コンサルタンツ株式会社  
金村 和生

中央復建コンサルタンツ（株）の金村と申します。生まれも育ちもコテコテの大阪です。幼少期は吉本新喜劇と新日本プロレス、ピンクレディーを見て育ちました。

入社当時からセンターの皆様には、大変お世話になっております。元気だけが取り柄の私ですが、少しでもお役に立てれば幸いです。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 東京ソイルリサーチ  
田中 洋

この度、教育技術小委員会に参加させていただくことになりました、東京ソイルリサーチの田中と申します。

このような委員会への参加は初めてで、勝手のわからないことも多いですが、微力ながら委員活動にお役に立てるようにしたいと思いますので、よろしく願いいたします。



基礎地盤コンサルタンツ株式会社  
深井 晴夫

平成 27 年度から教育・技術小委員会に参加させて頂いています基礎地盤コンサルタンツ（株）の深井です。

本委員会を通じて組合員及びセンターの皆様にとって有意義な活動ができればと考えています。また、個人的には会社とセンターをつなぐパイプ役になればと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



株式会社 キンキ地質センター  
新井 靖明

引き続き、教育・技術小委員会に参加させて頂くことになりましたキンキ地質センターの新井です。

主に河川堤防の土質構成や堤体土の物理・力学的性状を把握するための調査を行っています。前期同様、委員会を通じて技術的な知識やその他の情報等の交換ができればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



株式会社 KGS  
高村 憲明

この度センターの教育・技術小委員会に参加させて頂く事になりました高村と申します。

建築設計出身の為、技術的な貢献は難しいですが、それ以外での貢献ができるように務めてまいりますので、皆様よろしくお願い致します。



報国エンジニアリング株式会社  
玉利 善徳

まだまだ未熟ですが、皆様から多くの事を学びたく思います。

宜しく願い致します。

# こんな時代だから、 ちょっと心に残る良い話

こんにちは、広報委員の清野です。数年前にある営業セミナーで時間について印象に残った話があるので概略をご紹介します（詳しく書くととても長くなるので…）。

「普段、自分の時間はどれくらい持っていますか？」と問われたとき、皆さんはなんと答えるでしょうか？何をしているときを「自分の時間」として認識するでしょうか？例えば私なら仕事終わりにする趣味の時間を答えます。およそ1～3時間程です。しかし、セミナーでは24時間と言われ驚きました。当たり前と言えば当たり前ですが……。仕事でも何をするときでも「自分の時間」だということです。

これはどういう意味でしょうか？私のように、自分の趣味の時間＝好きなことをする時間を「自分の時間」として認識する方が多いのではないかと思います。ここに今回の主題である時間に対する捉え方の違いがあります。

趣味をする時間は「自分の時間」の中の一部であり、一日（さらにその積み重ねである人生）の中では好きなことも嫌いなことも自分自身が体験するわけですから、その意味で24時間すべて「自分の時間」です。

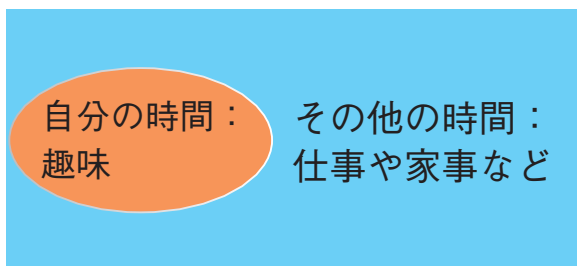
ですから、この「自分の時間」を、私の例であれば仕事後の趣味の時間だけだと捉えるのではなく、仕事やその他あらゆる時間が自分のものであると認識し、好きなことと同様に充実するよう努めていけば、日々を、そして人生をより豊かなものにすることができるという理屈になります。

このことから、セミナーでは一日の約半分を占める仕事の時間を「人生のゴールデンタイム」としていかにうまく使うべきか、という話になっていきました。

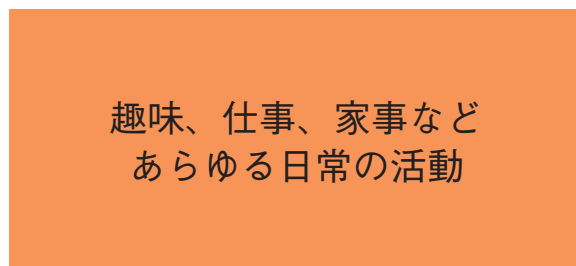
言うは易しで、忙しい中では理屈はわかっても考え方を改めて実行することは難しいですが、時間の捉え方について少しでも見つめ直すきっかけになれば幸いと思い、この機会に書いてみました。

（清野 達也 記）

自分の時間（0～数時間）



自分の時間（24 数時間）



※自分の時間は一日のうちわずかなものだと思って日々を過ごすのではなく、あらゆる時間が自分のものだと認識し、意識を改めることで、一日一日を、ひいては人生を良いものにしていく。

## 編集後記

この夏の暑さは異常でした。その影響で、今年5月以降の熱中症患者が全国で8万9,305人に達し、病院搬送直後に亡くなった方が150人近くに上ると報道されました（8月26日時点）。9月になり、やや暑さは和らぎましたが、まだまだ熱中症には十分注意し、現場に出かける方、外回りをする方は水分と塩分をしっかりと補給し、無理をせず、仕事等に取り組んでいただきたいです。

つい先日、ある同業者の方からこんな話を聞きました。その方が管理していたボーリングの現場で、若い作業員が突然、熱中症らしき症状で倒れたため、慌てて病院に担ぎこんだそうです。若くて元気な作業員であり、十分に水分補給は行っていたため、不思議に感じていました。

その後の診断結果は、熱中症ではなく糖尿病でした。水分補給のためスポーツドリンクを過剰に摂取し、一時的な血糖値の上昇により、倒れたとのこと（もともと、糖尿病の持病があったとのこと）。熱中症対策のつもりが、人一人死なせるとこだった、と胸を撫で下ろした、との話でした。

私も原稿を書いている今月で48歳、熱中症だけでなく、成人病にも気をつけていかなくてはなりません。皆様も飲みすぎ食べすぎを控えるとともに、日頃定期健診を受け、体調チェックをして、異常があれば早めに医療機関に行くように、お願いいたします。人生これからです。

（杉原 記）



# 組合員・賛助会員名簿

## 【組合員名簿】

(50音順)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アスコ大東	(06)6282-0310	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897)33-3123
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
株式会社 KGS	(072)279-6770	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088)642-5330	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	株式会社 日建設計シビル	(06)6229-6372
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6932-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

## 【賛助会員名簿】

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター  
 〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号  
 TEL 06-6827-8833 (代)  
 FAX 06-6829-2256  
 e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編集 広報小委員会  
 編集責任者 中山義久  
 印刷 千里丘印刷

<http://www.ks-dositu.or.jp>



モノレール南摂津駅より徒歩約15分 JR岸辺駅よりタクシーで約10分 阪急正雀駅より徒歩で約25分



## 協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3  
 TEL.06-6827-8833(代表)  
 FAX.06-6829-2256(地盤技術室)  
<http://www.ks-dositu.or.jp>